



3D Technology Newsletter

RIEGL: ウェビナーでイノベーションと製品の最新情報

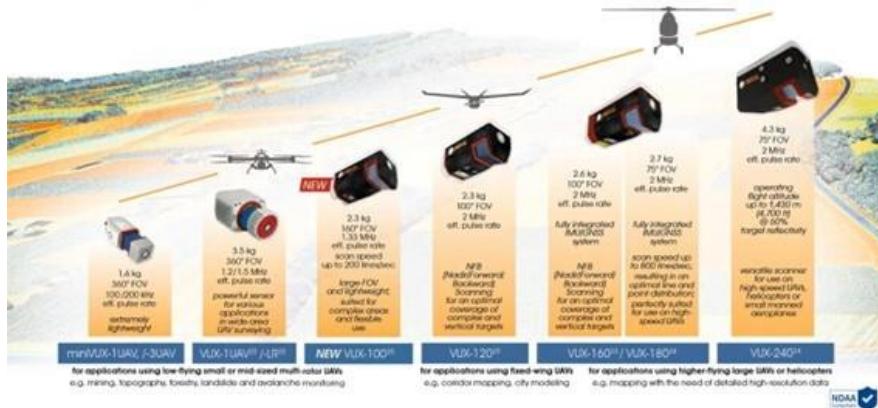
RIEGL Shares Innovations and Product Updates In Online Webinar

RIEGL は、最新のオンラインウェビナーで、最新の Intergeo Expo and Conference で展示された、空中、地上、および無人レーザースキャンにおける同社の最新の製品リリースとアップデートの概要を提供する。

このウェビナーは、航空機、地上、モバイル、無人レーザースキャンソリューションの最新情報とイノベーションをカバーする 4 つの異なるプレゼンテーションで構成されている。

1560 ALS システムシリーズ
広域マッピングアプリケーション向け
の完全統合型空中レーザースキャン
システム

UAV ベースのレーザースキャニング最新情報。VUX-100-25 がユニークなのは、直下視で可能。

RIEGL UAV-based Laser Scanning – Product Overview**RIEGL ALS Product Portfolio – 2024****Atlas : GIS 新期ユーザー向けツール**Atlas' Vision for GIS: User-Friendly Tools for a New Audience

GIS は非常に多くの異なるセクターに影響を与えており、人工知能が大量のデータを分析してコンテキスト化するおかげで、使用量は増加している。GIS の使用が拡大する際の大きな問題の 1 つは、ソフトウェアが必ずしも初心者のために存在するとは限らないことである。新しいユーザが、使い易いツールを用意した。



ユーティリティ測量、デジタルツイン、セキュリティ

Around the 3D Technology Industry: Utility Surveying, Digital Twins, Security

公益事業の植生管理におけるリアリティキャプチャの位置付け、デジタルツインと人工知能の合流、セキュリティワークフローにおけるライダーの役割。

送電線を運用にとって最も重要で困難なタスクの1つは、その資産の周りの樹木と植生の成長を管理することである。



<News from the 3D Technology Industry>

Cybever と Cloud Zeta が提携し、エンドツーエンドのソリューションをサポートする AI を活用した

- [Cybever and Cloud Zeta Partner to Build an AI-Powered 3D Content Creation Platform Supporting End-to-End Solutions](#)

3D コンテンツ作成プラットフォームを構築 GAMMA AR への戦略的投資により、建設業界に拡張現実(AR) のブレークスルーをもたらす

- [Strategic Investment in GAMMA AR To Bring Augmented Reality Breakthroughs in Construction](#)

Planitar が次世代 PLANIX カメラ システムを発売: スペース キャプチャ イノベーションの飛躍

- [Planitar Launches Next-Gen PLANIX Camera System: A Leap Forward in Space Capture Innovation](#)

Cintoo、Partech が主導するシリーズ B の資金調達ラウンドで 3,700 万ユーロを調達 Prevu3D、

- [Cintoo Secures €37 Million in Series B Funding Round Led by Partech](#)

ConneXion 2024 を開催: ビジュアルデジタルツインによるリアリティキャプチャベースのエンジニアリングおよび運用ワークフローに関する初のイベント

- [Prevu3D to Host ConneXion 2024: First Event on Reality Capture-Based Engineering and Operational Workflows with Visual Digital Twins](#)

Fugro とオートデスクが、よりスマートで安全な建設を実現する革新的なソフトウェア統合を発表

- [Fugro and Autodesk Unveil Game-Changing Software Integration for Smarter, Safer Construction](#)

Exyn、Nexys の統合エコシステムを Inspired Flight プラットフォームに拡張

- [Exyn Extends Nexys Integration Ecosystem to Inspired Flight Platform](#)

GEO WEEK NEWS

AEC Innovations Newsletter

Geo Week 2025 : 必見のセッション

[Must-Attend Sessions to Check Out at Geo Week 2025](#)

測量業務の向上

測量は地球上で最も古い職業の1つであり、イノベーションと新技術を取り入れる伝統主義が見事に融合している。



デジタルツインで都市と国を変革

データキャプチャ機能の向上と人工知能のおかげで、今ではさまざまな業界の専門家によって、より大規模に活用されている。

大規模な航空機マッピングプロジェクトのベストプラクティス

土木工学から都市計画まで、さまざまなセクターにとって重要なワークフローであり、このデータを収集するサービスプロバイダーは地理空間コミュニティの中核的な部分となっている。

交通安全と交通インフラの変革

交通は、資金の流入とインフラや持続可能性への注目。老朽化したインフラを改善

地理空間業務の労働力問題

才能を引きつける方法と洞察を使用して、この状況を改善する方法

Exodigo : AI 活用で地下の地図を作成

[Exodigo is Leaning on AI to Help Map the Underground](#)

土木プロジェクトに関する最も驚くべき事実の1つは、掘削中に重要なユーティリティが潜在的に危険なストライキを非常に多く発生させていることである。地下のユーティリティの不正確な地図のおかげで、米国だけで年間400,000から800,000件のユーティリティストライキが発生していると言われている。



Exodigoは、現在のブームの前からAIを活用してこの問題

に取り組んできた。まず、クローラーを使用して、インターネットからエリアの可能なすべての書き込み記録を実行し、記録されているもののベースマップを作成する。レコードが超正確ではないが、真のマップを作成するにはベースライン情報が必要であることを認めている。その後、コンピューター ビジョンに頼って、過去10年間のGoogleストリートビューのデータを調べ、地面に落ちたペンキやアスファルトのひび割れなど、何かが埋まっていることを示す可能性のあるものを探す。

電磁センサーや磁気センサー、金属探知機、高解像度カメラを使用しています。さらに、iPhoneのLiDARシステムを使用して、特定のエリアのマンホールをキャプチャする。

エンジニアリング企業がクラウドに移行する前に知っておくべきこと

[What Architecture and Engineering Firms Need to Know Before Moving to the Cloud](#)

進化する業界で競争力を維持

優れたコラボレーション、柔軟性、イノベーションに対する要求が高まる中、クラウドへの移行はもはやオプションではなく、不可欠である。ただし、移行には独自の課題と考慮事項が伴う。

クラウドへの移行は、データの整合性の維持、変更の効果的な管理、業界標準へのコンプライアンスなどを慎重に見極めなくてはならない。



ゲームチェンジ製品の出展呼びかけ

Geo Week Is Looking for Your Game Changing Product

Geo Week Game Changers Showcase を通じて、地理空間業界と AEC 業界のあらゆる分野の企業に、3D、地理空間、AEC のランドスケープを変えたと思われる製品の提出を呼びかけている。

11月29日の提出期限



Geo Week 基調講演

Geo Week 2025 Keynotes Announced

DFW 空港は、ニューヨーク州マンハッタン(世界で3番目に大きい空港)よりも大きく、2つの主要なターミナル建設プロジェクト、新しい電気プラントプロジェクト、および老朽化したユーティリティ改善プロジェクトがある。



Ronda Schrenk



Mike Aslaksen



Jeremy Wasson

人工知能、ロボティクス、2025年トレンド

Around the AEC Industry: Artificial Intelligence, Robotics, 2025 Trends

何十年にもわたって業界を悩ませてきた非効率性に対処してきたため、業界は極端な変化の時期でした。今回は、AI、デジタルツイン、BIM のコンバージェンスに注目したストーリーに焦点を当てる。



<News from the AEC Industry>

ライカジオシステムズと Develon は、DD100 および DD130 ドーザーの 3D マシンコントロールオプションを拡大

- [Leica Geosystems and Develon Expand 3D Machine Control Options for DD100 and DD130 Dozers](#)

Sensera Systems が SiteCloud™ ジョブサイトインテリジェンスソリューションの新しい AI 搭載機能を発表

- [Sensera Systems Announces New AI-Powered Functionality for SiteCloud™ Jobsite Intelligence Solution](#)

Trimble、新しいセルフサービス統合ツールで建設ワークフローの接続性を向上

- [Trimble Advances Construction Workflow Connectivity with New Self-Service Integration Tools](#)

Cintoo、Partech が主導するシリーズ B の資金調達ラウンドで 3,700 万ユーロを調達

- [Cintoo Secures €37 Million in Series B Funding Round Led by Partech](#)

EarthCam は、新しい 2 つのカメラ周辺検出システムを発売

- [EarthCam Launches New Two Camera Perimeter Detection System](#)

FTD、エコラボへの投資を確保し、産業ビジネスのイノベーションを加速し、持続可能性を推進

- [FTD Secures Ecolab Investment to Accelerate Innovation & Drive Sustainability for Industrial Businesses](#)

Fugro とオートデスクが、よりスマートで安全な建設を実現する革新的なソフトウェア統合を発表

- [Fugro and Autodesk Unveil Game-Changing Software Integration for Smarter, Safer Construction](#)

Blynscy は、安全性、保守性を高め、全国のデジタルインフラストラクチャの動きを加速するための道路資産を示す米国の州間高速道路の地図を公開しています

- [Blynscy Publishes Map of U.S. Interstate Highways Showing Roadway Assets to Enhance Safety, Maintenance, and Accelerate the Digital Infrastructure Movement Nationally](#)

COMMERCIAL UAV NEWS

未来のイノベーター: UAV Empower 奨学金の最初の受給者

[Future Innovators: Meet the UAV Empower Scholarship's First Recipients](#)

ドローン業界の未来はイノベーションにかかっており、イノベーションは多様な視点から生まれる。このことを認識して、*UAV Empower: Path to Leadership Event Scholarship* は、Commercial UAV Expo 2024 で開始され、ドローンを使用して社会的および環境的利益を推進することに情熱を持つ学生を選んだ。

世界中から集まった 80 人以上の応募者の中から、ダニエル・アラヤンデ氏、ノア・ベア氏、ジェスカ・マニーカ氏、ニーナ・シャック氏は、ドローン技術の未来に対する創造性、意欲、ビジョンで際立っていた。



英国での商用ドローン状況

[UAVs Across Europe: Commercial Drone Applications in the UK](#)

Drone Industry Insights(DII)によると、英国(UK)の商用ドローン業界はヨーロッパで最も強力な業界の 1 つであり、最も成長の可能性を秘めている。「実質 GDP が 3 兆米ドルの堅調な経済と、さまざまな分野での世界的な影響力により、ドローン産業が繁栄するのに理想的な環境になっている」

- ・ Evolve Dynamics 緊急対応と公共安全のための Drone in a box
- ・ ロンドンの消防士がドローンと GIS に着目
- ・ Apian がドローンによる医療提供
- ・ 農業と持続可能性のための UAV



Volirio T : 接触型空中検査

Revolutionizing the Future of Contact-Based Aerial Inspections with the Volirio T

スイスを拠点とするロボティクスエンジニアリング企業である Volirio は、高所での接触式検査とメンテナンスタスクを実行するための第 1 世代空中ロボットプラットフォーム Volirio T バージョン 5 を発表した。5G モジュール、超音波検査(UT)および乾燥膜厚(DFT)測定、断熱材による腐食の検出



無人航空が従来の航空と同じ運用上の安全性を達成するには 100 年かかる?

Will it take 100 years for Uncrewed Aviation to Achieve the Same Operational Safety as Traditional Aviation?

1903 年 12 月 13 日、ライト兄弟はキャンバスと木製の機械で空に飛び立ち、3 秒未満の飛行で飛行した。それから航空安全を改善するために、すべての事故とすべてのインシデントを徹底的に調査するために数え切れないほどの時間を費やす新しい時代の夜明けでした。

100 年、4 世代にわたるパイロットと整備士を経て、従来の有人航空機は、交通量と移動頻度を考えると、他のすべての交通手段に匹敵する運用安全性の完成度に達したのである。

筆者は、はるかに短い期間で、到達できると信ずる。 何故なら・・・
(原文参照・・・訳者)



Mass General : ボストンで医療用ドローン配達

Mass General Plans to Introduce Medical Drone Delivery in Boston

マサチューセッツ州ボストンの マサチューセッツ総合ブリガム 病院で進行中。同病院は、ドローンメーカーの Draganfly と提携してテスト飛行を実施し、MassDOT 航空部門と提携して空域誘導を行っている。主な課題は、規制上の障害、BVLOS の免除、ローガン国際空港に近く人口密度の高い都市のすでに混雑した空域にさらなる制限が加わる。もう一つの大きなハードルは、一般市民に受け入れられること。人口密集地でドローンが頭上を飛ぶという概念。



実用は 5 年後?

スパイダードローン、ドローンと地上間通信の改善、警察の監視

New Spider Drone, Better Drone-to-Ground Communications, Police Surveillance

韓国のクモにインスピアされたドローン

4 つのプロペラで飛行、6 本の脚を使って歩く
ドローンと地上無線通信の改善

ミリ波(mmWave)無線通信システムで高速データレート通信を可能
ドローンで警察を監視

クアラルンプール：職務を怠っている警官を特定するドローン監視



<Recent News from the Commercial UAV Industry>

Sphere Drones は、革新的な HubX ユニットを Aptella に提供し、リモートドローン運用を変革

[Sphere Drones delivers game-changing HubX unit to Aptella, transforming remote drone operations](#)

Drone Up Academy がフランス初の長期研修「Remotely Piloted Aerial Engineering Technician」を開始

- [Drone Up Academy launches the first long-term "Remotely Piloted Aerial Engineering Technician" training course in France](#)

生物多様性テックコンペティションの受賞者に

- [XPRIZE Rainforest Names Limelight Rainforest Winner of Biodiversity Tech Competition](#)



フリーウェビナー Urban Air Mobility (UAM)

12 December 2024, 4:30pm CET



アーバンエアモビリティ(UAM)は、業界で最もホットなトピックの1つであり続けている。しかし、信じられないかもしれません、エアモビリティは地上から始まる。それはなぜで、次のステップは何か?

<訳者コメント>

- 1) Atlas(地図) GIS が AI のおかげで、初めての人にも使い易く。
- 2) 送電線の管理では、周りの植生状況が重要、ドローンの出番、
- 3) AI 活用で地下の地図作成支援:手に入るあらゆる情報を総動員、
- 4) 接触型空中検査:ドローン検査は非接触が多かったが、うまく制御できれば・・
- 5) 無人機の在来航空機並みの安全確保 100 年⇒?年

2024-11-30 SPARJ 河村幸二